

COMPOSITE FACILITY UNIT

Patent Number: JP11159162
Publication date: 1999-06-15
Inventor(s): ISHINO TOSHIHIRO
Applicant(s): SEKISUI CHEM CO LTD
Requested Patent: ☐ JP11159162
Application Number: JP19970323228 19971125
Priority Number(s):
IPC Classification: E04H1/12; E03D11/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To form a wash room at one side face and a toilet room at the other side face respectively, partitioned by a wall body by providing a lavatory dresser at one side face of the wall body and toilet facilities at the other side face thereof.

SOLUTION: A lavatory dresser 2 with a cabinet and a container shelf 3 above the dresser are provided at one side face of a wall body 1, and toilet facilities 4 and a container shelf 5 above the toilet facilities are provided at the other side face thereof. When such a composite equipment unit is installed in an indoor side, the wall body 1 serves as a partitioning wall and the one side where the lavatory dresser 2 is installed 2 is used as a wash room and the other side where the toilet facilities 4 are installed serves as a toilet. Water supply and drain pipes and electric cables necessary for the lavatory dresser 2 and the toilet facilities 4 may be laid along the wall body 1 and hence, these works can be easily done and labor is saved.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-159162

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月15日

(51) Int.Cl.⁶

E 0 4 H 1/12

E 0 3 D 11/00

識別記号

3 0 1

F I

E 0 4 H 1/12

E 0 3 D 11/00

3 0 1

A

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-323228

(22) 出願日 平成9年(1997)11月25日

(71) 出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 石野 敏宏

東京都港区虎ノ門3-8-21 株式会社セ

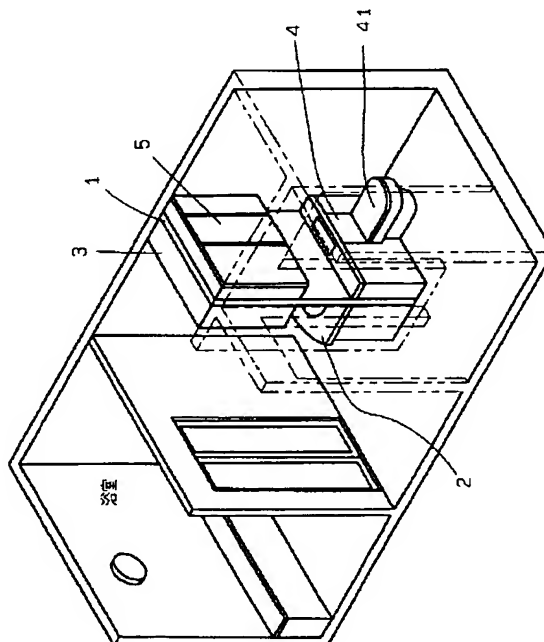
キスイデザインセンター内

(54) 【発明の名称】 複合設備ユニット

(57) 【要約】

【課題】 洗面化粧台等の諸設備を取付けるための作業や給排水管の設置作業や電線の配線作業等に手間のかからない設備ユニットを提供する。

【解決手段】 壁体1の片面に洗面化粧台2が設けられ、他の片面にトイレ設備が4設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にトイレ設備が設けられていることを特徴とする複合設備ユニット。

【請求項2】 壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にシャワー設備が設けられていることを特徴とする複合設備ユニット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複合設備ユニットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば、特開平5-305013号公報に記載されているように、カウンター及びキャビネットを備えた洗面化粧台が知られている。このような洗面化粧台やトイレ等の設備は、例えば、実開昭55-141662号公報等に記載されているように、従来、夫々、室内の異なった側壁に取付けられている。

【0003】即ち、図5に示すように、洗面化粧台（イ）は脱衣室（ロ）の側壁（ハ）に取付けられ、便器等のトイレ設備（ニ）はトイレ（ホ）の側壁（ヘ）に取付けられている。又、図6に示すように、洗面化粧台（イ）は脱衣室（ロ）の側壁（ハ）に取付けられ、シャワー設備（ト）はシャワー室（チ）の側壁（リ）に取付けられている。尚、図5、6において、（ヌ）は脱衣室（ロ）内に設けられた洗濯機である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のように、洗面化粧台、便器等のトイレ設備、シャワー設備等が異なった場所の側壁に取付けられているのは、洗面化粧台等の諸設備を取付けるための作業や給排水管の設置作業や電線の配線作業も夫々離れた場所で行うことになり手間がかかり不経済である。

【0005】本発明は、このような従来の洗面化粧台等の諸設備の設置における問題点を鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、従来の洗面化粧台等の諸設備の設置における問題点を解消し、洗面化粧台等の諸設備を取付けるための作業や給排水管の設置作業や電線の配線作業等に手間のかからない設備ユニットを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成する為に、請求項1記載の本発明の複合設備ユニットは、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にトイレ設備が設けられていることを特徴とするものである。

【0007】又、請求項2記載の本発明の複合設備ユニットは、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にシャワー設備が設けられていることを特徴とするものである。

【0008】本発明において、洗面化粧台としては、従

来から洗面化粧台として使用されているものがそのまま使用できるものであって、特に限定されるものではない。例えば、洗面化粧台のみのものでもよく、キャビネットが一体的に設けられているものでもよい。

【0009】又、トイレ設備としては、便器と関連の設備が備わっていればよいものであって、特に限定されるものではない。例えば、便器は和式でもよく洋式でもよい。関連の設備としては、水洗用のハイタンク、或いは、ロータンクや給排水管等が含まれる。

【0010】又、シャワー設備としては、シャワーを浴びることができる関連の設備であればよく、特に限定されるものではない。例えば、シャワーヘッドや給排水管や操作つまみ等である。

【0011】〔作用〕請求項1記載の本発明の複合設備ユニットにおいては、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にトイレ設備が設けられているので、本発明の複合設備ユニットを室内に設置すれば、壁体が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台が設けられた片面側が洗面室となり、トイレ設備が設けられた他の片面側がトイレとなる。

【0012】洗面化粧台及びトイレ設備に必要な給排水管や電気配線は壁体に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【0013】又、請求項2記載の本発明の複合設備ユニットにおいては、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にシャワー設備が設けられているので、本発明の複合設備ユニットを室内に設置すれば、壁体が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台が設けられた片面側が洗面室となり、シャワー設備が設けられて他の片面側がシャワー室となる。

【0014】洗面化粧台及びシャワー設備に必要な給排水管や電気配線は壁体に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図について説明する。図1は本発明の複合設備ユニットの一例の使用態様を示す斜視図、図2は図1に示す本発明の複合設備ユニットの一例の使用態様を示す平面図である。

【0016】図1、2において、1は壁体であり、壁体1の片面にはキャビネット付きの洗面化粧台2が設けられている。壁体1の片面の洗面化粧台2の上方には収納棚3が設けられている。壁体1の他の片面にはトイレ設備4が設けられている。41はトイレ設備4の洋式便器である。壁体1の他の片面のトイレ設備4の上方に収納棚5が設けられている。尚、6は洗面化粧台2の正面に設けられた洗濯機である。

【0017】図1、2に示す本発明の複合設備ユニットは叙上の構造を備えているので、図1、2に示すように、本発明の複合設備ユニットを屋内に設置した場合に

は、壁体1が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台2が設けられた片面側が洗面室となり、トイレ設備4が設けられた他の片面側がトイレとなる。

【0018】洗面化粧台2及びトイレ設備4に必要な給排水管や電気配線は壁体1に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【0019】図3は本発明の複合設備ユニットの一例の使用態様を示す斜視図、図4は図3に示す本発明の複合設備ユニットの一例の使用態様を示す平面図である。

【0020】図3、4において、1は壁体であり、壁体1の片面にはキャビネット付きの洗面化粧台2が設けられている。壁体1の片面の洗面化粧台2の上方には収納棚3が設けられている。壁体1の他の片面にはシャワー設備7が設けられている。71はシャワー設備7のシャワーヘッド、72はシャワーヘッド71に給水給湯するための給水給湯ホース、73は給水給湯用の操作用摘みである。8は壁体1の他の片面のシャワー設備7の側方に設けられた収納棚である。

【0021】図3、4に示す本発明の複合設備ユニットは叙上の構造を備えているので、図3、4に示すように、本発明の複合設備ユニットを屋内に設置した場合には、壁体1が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台2が設けられた片面側が洗面室となり、シャワー設備7が設けられた他の片面側がシャワー室となる。

【0022】洗面化粧台2及びシャワー設備7に必要な給排水管や電気配線は壁体1に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【0023】以上、本発明の実施例を図により説明したが、本発明の具体的な構成は図示の実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更は本発明に含まれる。

【0024】例えば、照明装置や換気扇等を壁体に取り付けて壁体の両側において利用できるように共用化してもよい。

【0025】

【発明の効果】請求項1記載の本発明の複合設備ユニットにおいては、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他

の片面にトイレ設備が設けられているので、本発明の複合設備ユニットを室内に設置すれば、壁体が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台が設けられた片面側が洗面室となり、トイレ設備が設けられた他の片面側がトイレとなる。

【0026】洗面化粧台及びトイレ設備に必要な給排水管や電気配線は壁体1に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【0027】又、請求項2記載の本発明の複合設備ユニットにおいては、壁体の片面に洗面化粧台が設けられ、他の片面にシャワー設備が設けられているので、本発明の複合設備ユニットを室内に設置すれば、壁体が間仕切り壁の役目を果たし、洗面化粧台が設けられた片面側が洗面室となり、シャワー設備が設けられて他の片面側がシャワー室となる。

【0028】洗面化粧台及びシャワー設備に必要な給排水管や電気配線は壁体1に沿って設ければよいので、その作業は容易であり、手間が大してかからない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の複合設備ユニットの一例の使用態様を示す斜視図。

【図2】図1に示す本発明の複合設備ユニットの使用態様を示す平面図。

【図3】本発明の複合設備ユニットの他の一例の使用態様を示す斜視図。

【図4】図3に示す本発明の複合設備ユニットの使用態様を示す平面図。

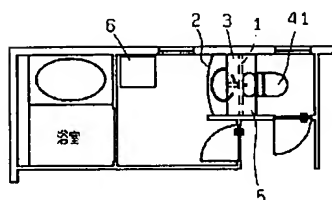
【図5】従来の洗面化粧台等の設備の設置態様を示す平面図。

【図6】従来の洗面化粧台等の設備の設置態様を示す平面図。

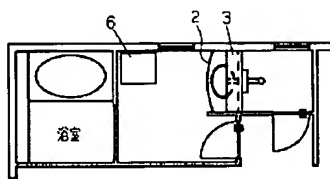
【符号の説明】

- 1 壁体
- 2 洗面化粧台
- 3、5 収納棚
- 4 トイレ設備
- 41 便器

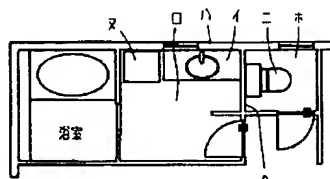
【図2】



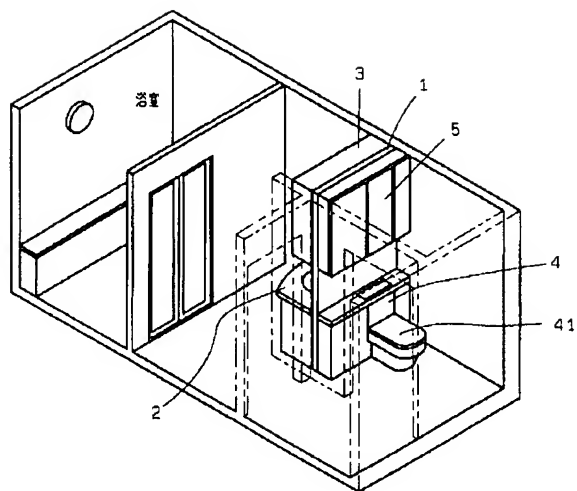
【図4】



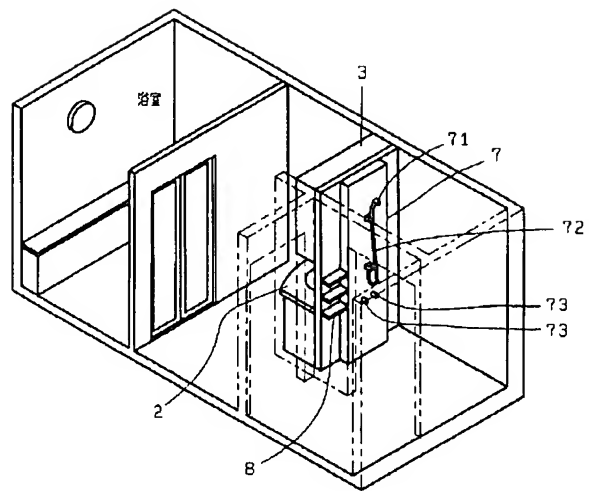
【図5】



【図1】



【図3】



【図6】

